

## あいちロボット産業クラスター推進協議会について — 第2回 委員会の論点整理 —

### 第1回 委員会での主な意見

#### 【当地域が取り組むべき事項】

- ロボットを実証評価する場を構築し、研究開発や実用化を促進すること
- ロボットの安全に関する基準を自ら作るつもりで臨むこと
- ロボットを開発する立場と利用する立場を橋渡しし、新たな市場を生み出すこと
- 利用する側がロボットに対する正しい認識を持つことやデザイン手法の開発
- ロボットを利用する場に関する規制緩和やロボット特区等を国に提言していくこと
- ロボットに関するイベントの開催や人材育成

### 国の動き

#### 【ロボットの開発・実証・導入に係る支援】

- ・ ロボット導入実証事業 [経済産業省]
- ・ ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト [経済産業省]
- ・ 次世代ロボット中核技術開発 [経済産業省]
- ・ 農林水産業におけるロボット技術開発実証事業 [農林水産省]
- ・ 次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入の推進 [国土交通省] 等

#### 【国家戦略特別区域(近未来技術実証特区)の指定】

#### 【地域再生制度に基づく支援】

#### 【政府関係機関の地方移転に係る提案公募】

#### 【ロボット新戦略 ～アクションプラン～】

- ・ ロボット革命イニシアティブ協議会の設置
- ・ 次世代に向けた技術開発
- ・ ロボット国際標準化への対応
- ・ ロボット実証実験フィールドの整備 ・ 人材育成
- ・ ロボット規制改革の実行 ・ ロボット大賞の拡充
- ・ ロボットオリンピック (仮称) の検討

### 平成 27 年度 県の取組

#### (1) 実証評価する場の構築

- 愛・地球博記念公園における実証実験の支援
- 長寿研との連携による「あいちサービスロボット実用化支援センター(仮称)」の設置(8月頃)
  - ・ 開発側、利用側の相談支援
  - ・ 生活支援ロボットの実演・デモ

#### (2) 研究開発や実用化の促進

- 新あいち創造研究開発補助金による支援

#### (3) ロボットの安全技術の支援

- 安全対策に関する開発者向け研修会の開催
- 国際安全規格認証の取得支援(専門家の派遣等)

#### (4) 開発者と利用者との協働体制の構築

- 3つのワーキンググループ(「医療・介護」「製造・物流」「無人飛行ロボット」)の運営  
 ※協議会会員登録状況:209社・団体<H27.5.22時点>  
 (開発65、利用46、開発・利用49、支援機関49)

#### (5) 規制緩和やロボット特区等の国への提案

- 国家戦略特別区域(近未来技術実証特区)への提案
  - ・ リハビリ遠隔医療・ロボット実証PJ、無人飛行ロボット実証PJ、自動走行実証PJ  
 <規制緩和提案関連法>  
 医薬医療機器等法、電波法、航空法、道交法
- 地域再生計画の提案
  - ・ ロボット実用化支援事業
- 政府関係機関の誘致提案の検討
  - ・ 政府関係機関誘致検討委員会の開催

#### (6) イベントの誘致・開催

- 県内外展示会への出展支援、展示会の開催
  - ・ メカトロテックジャパン 2015、2015 国際ロボット展、国際福祉機器展 2015 等への出展
  - ・ あいちロボットフェスタの開催
- 「ロボカップ 2017」の誘致支援

### 第2回 委員会の論点

#### これまでの取組の評価と今後の方向性について議論

- ◎ 実証評価の場の提供、開発側と利用側のマッチングについて
- ◎ 規制緩和や特区をはじめ国への提言について
- ◎ 安全に関する基準づくりや利用側への啓発について
- ◎ イベント誘致、人材育成、研究開発支援について